

常任委員会

行政視察

〔文教厚生委員会〕

期日▼平成24年7月

9日～11日

場所▼香川県高松市・愛媛県今治市・松山市

内容▼高松市では、「保育所への芸術士派遣事業」について、視察しました。

当事業は、芸術系大学の卒業生などを「芸術士」として保育園・幼稚園に派遣し、保育士・幼稚園教諭と連携しながら、子どもたちの絵画や造形など自由な表現活動の手助け等を行うもので、表現の楽しさ、面白さを体験することで、子どもたちの意欲や好奇心が養われるなど、高い教育効果が見込まれる事業でした。

今治市では、「子育て支援事業」について、視察しました。子育て支援事業として17の事業を実施しており、特に、子育てファミリー応援ショップ事業など、子どもたちが健やかに成長できる環境をつくるため、地域全体で応援する取組みが確立され、安心して子育てができる体制が整っている事例でした。

松山市では、「こどもリーダーズ事業」について、視察しました。

当事業は、共通のテーマについて互いに協力して課題を解決したり、野外活動などの取り組みの中から、リーダーに望まれる能力を育て、次代を担う気概と自覚を持たせることを目的としています。

活動を通じて、他では得難い経験を基に、児童会や生徒会の中心として活躍するなど、効果が出ており、当市においても参考になる事業でした。

〔環境経済委員会〕

期日▼平成24年7月

9日～11日

場所▼北海道札幌市・滝川市江別市

内容▼当委員会は、リサイクル・バイオエネルギーの先進地である北海道で、それらの利点や課題を学ぶことを目的とした視察を行いました。

札幌市では、ビン・缶・ペットボトル等の資源物を個々にリサイクルできるよう選別する施設「中沼資源選別センター」を、滝川市では、ごみを資源として再利用するとともに、エネルギーを有効利用することを目的とした「リサイクルライン」という施設を視察しました。江別市では酪農学園大学でバイオマスエネルギーの研究をされている干場学群長の貴重なお話や、インテリジェント牛舎などのバイオプラント研究施設を見学してきました。



生ごみからバイオガスを回収し発電を行うなど、化石燃料の枯渇抑制を図ることができる反面、生ごみの回収量が減るとバイオガスの回収量も減る、また、利用し終わったバイオマスを循環利用するための土地が必要になるなどの課題もあつたことから、これらの課題をどう克服し、本市の環境行政に役立てるか、当委員会では引き続き研究・調査を進めていきます。

〔都市建設委員会〕

期日▼平成24年7月

9日～11日

場所▼北海道夕張郡由仁町名寄市・旭川市

内容▼由仁町では、「優良田園住宅によるまちづくり」について、視察しました。

当事業は、担い手不足や耕作放棄地の増大等の課題を抱える農村地域にとつて、定住の促進や交流の拡大等、新たな地域づくりとして期待される制度であり、農村景観に配慮した緑化対策や周辺の既存居住者との連携や融和等、良好な居住環境の形成が見込まれる事例でした。

名寄市では、「風連本町地区第一種市街地再開発事業」について、視察しました。

風連市街地は、地区内の建物の老朽化と同時に購買力が流出し、市街地商店街の賑わいと活力が減少したことから、再開発事業が行われました。

便利で生活しやすい市街地中心部の実現は、地区内外から様々な形で来訪者の増加に繋がっており、コンパクトシティの成功例と呼べるものでした。

旭川市では、「北彩都あさ

ひかわ整備事業」について、視察いたしました。

当事業は、空洞化が進む旭川市の中心部で、鉄道の高架化や橋梁の整備により、分断されている南北の交通を円滑化するとともに、周辺の自然と調和した魅力ある空間の創出のため、国・道・市が協働した事業です。

自然と「まち」が調和したまちづくりは、今後の各種事業の参考となるものでした。



議会報編集委員会

- 委員長 寺内 充
- 副委員長 矢口 清
- 委員 久松 猛
- 委員 藤川 富雄
- 委員 柴原 一夫
- 委員 福田 一郎